

ビデオナービズネットとは 個人規模で映像関係を業務としている事業者及びそのことに関わっている者の組織です。

公式WEB <http://www.videoner-biznet.com>

## 📷 6月定例会のご案内

### 「映写会」

6月は久々の映写会になります。映像のテーマは自由です。15時スタートになりますが、途中参加も大いに歓迎です。当日の参加人数によって変動はありますが、一人10分程度の映写、10分程度の質疑応答で行います。お互いの作品を見せ合って、実力向上を図りましょう！

（Blu-ray、DVD、SDカード、USBメモリなどすべて対応しております。）

次回定例会は

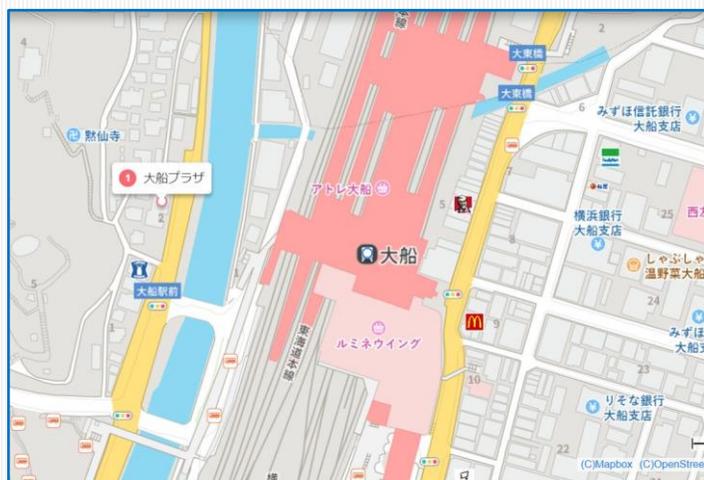
2022年 6月 9日（木） 15時～18時

#### 勉強会のネタ（募集中です！）

- ・ビデオの事業継承・後継者について（赤岡）  
（会員個人の場合とビズネット全体の場合含めて）
- ・ホールを借りて音声収録（菅澤）
- ・ネット配信のやり方（赤岡）
- ・後悔しない機材の選び方（脇田）
- ・ICレコーダーの設定方法（脇田）
- ・スイッチングとパラ撮影（脇田）

### <映写会会場案内>

JR大船駅（東海道線・横須賀線、京浜東北線）西口から徒歩2分、レンガ色「大船プラザビル」の3階「あっぷるこあ」にて開催いたします。西口はあまりビルがありませんので、すぐにわかると思いますが、ご不明の点がありましたら、090-5499-5947 脇田までお電話ください。



映写会終了後、大船駅東口の居酒屋に移動しての飲み会になります。

## 👥 4・5月定例会のご報告

### 「勉強会」他

#### <4月定例会>

書記脇田が、3回目コロナワクチン接種で熱を出してしまい、ZOOMにはログインはしていたものの、記録取れませんでした。

#### <5月定例会>

上河さんの「ワンランクアップ講座」でセンターマーカーについての講義でした。

ビデオカメラのセンターマーカーを表示させることで、「気持ちよい構図」にしたり、「撮影中に迷わない」ことが可能になるので、是非積

極的に活用してもらいたい、とのことでした。

（一例として、ピアノ発表会では、「奏者の目」と「鍵盤」の丁度真ん中にマーカーを合わせると、気持ち良い画角になります。）

以上敬称略 文責：脇田

### ✍️ 会員コラム

吉岡さん「よっしーの妄想が捗ります」

高橋さん「西湘のビデオ屋稼業」

※原稿は4月末にいただいたものです。

（文責各筆者）

## よっしーの 妄想が捗ります (2)

### 良い音って何だろ？

※個人的な見解。半分くらいは合ってると思います。ご意見、ご指摘、お待ちしております。

アソシネット株式会社 吉岡

2022年4月20日

自分はマイクを、オーディオテクニカ(以下、オーテク)で揃えてるけど、それは、最初買ったマイク(AE5400)がオーテクだから、という理由で。ボーカルマイクだけど、他のものも普通に録れるし、重厚感もあって良かったから。

じゃあ、オーテクを人に勧められるかということ、それも微妙でね。癖がない分、物足りなさを感じるんじゃないかと思う。AKGとかゼンハイザーとか、そっちの方が安心して勧められる。ちょっと高いマイクを買って、音質を上げたいと思ってる人には、違いがわかりやすい。

定番のマイクってあるよ。ボーカルだとSHUREのSM58、ガンマイクだとゼンハイザーのMKH416、楽器収録だとSHUREのSM57やAKGのC451B、スタジオ録音だとノイマンのU87Aiとか。これらを選べば間違いがない。音質もそうなんだろうけど、期待どおりの音で録れるっていうのがあると思う。

例えば、人の声を録りたいとき、人の声だけが目立たばいいわけで、定番のマイクって、周波数が平均的に録れるというよりは、ちょっと癖があっても、それが目的に合致してる。

オーテクのマイクは、総じて高音が弱めで、それが物足りなさに通じると思うんだ。

自分が、最初にマイクにハマったのは、ホールの三点吊りの音を聞いたとき。たぶん、みんなも、初めて聴いたときは、感動したと思うんだ。

それから、その音を、自分でも再現ができないかな、と思って(←この辺が、私のおバカなところで…)、楽器屋さんで買えるようなマイクをいろいろ買ってみた。もちろん、ホールの音と同じにはならなかったけど、今は、オーテクのAT5045に落ち着いてる。

だいたい、メインの音源には、ホールの三点吊りの音を使ってるから、自分のAT5045はバックアップで立てる感じ。でも、現場で聴いていると、ホールからの音よりも、こっち(AT5045)の方がいいんじゃないか？ ってときがある。

今回は「良い音」について考えてみよう。

メーカーからの情報では、マイクの仕様をしてみるしかない。

周波数特性 20~20,000Hz は、コンデンサーマイクだと、だいたい普通。20,000Hz っていうのは、人が感じ取れる上限で、私たち、おじさん連中は、モスキート音(17,000Hz)も聞き取れないから、20,000Hz あれば、十分な性能だと思う。

あと数値でわかるのは、感度とか、ダイナミックレンジとか、SN 比(ノイズの大きさ)とかね。これらは、マイクの「性能」に関する部分だよ。値段の高いマイクは、これらの数値が良い。

じゃあ、性能が良いと、良い音か？ ってなるじゃん。ホールに設置されてるマイクは、当然、値段も高く、性能も良いわけで。それに比べても、自分が使ってるマイクの方が良いって感じるわけがない。ということは、数値ではわからない部分もあるってことさ。

マイクの音質を言うときに「粒がそろってる」っていう言い方をする。

きちんと、細かく聴こえるマイクは、周波数のスペクトルを分析すると目に見えて、かなり細かくトゲトゲに振れる。

オーディオマニアの方に聴いてもらったときに「音の分離が良い」という表現をされていた。

この方が言う、音の分離とは、トランペットがトランペットに聴こえるって話さ。それって普通じゃん、って思うかもしれないけど、50 人くらいが演奏している中で、楽器をきちんと聴き分けられる、ってことで。単純に、感度が良いって話ではないし、安いマイクだと、こうは いかない。

あと、マイクには「過渡特性」というのがある。

「過渡特性とは、音の急激な変化に対して、出力信号が正確に追従する度合を表したものの。」  
イメージ的には、水面に広がった波紋が、いかに早く消えるか。早く消えれば、次の波紋の影響も受けにくってことにつながる。

マイクのダイアフラムって、普通は丸い。

かなり稀(まれ)だけど、三角形をしてるのがある。EHRLUND の三角形のダイアフラムは、振動が収まるのを売りにしていたりする。私の AT5045 は四角いけど、過渡特性のことは聞いたことがないね。この過渡特性は、高音に顕著に表れて、高音がシャラシャラしているマイクは過渡特性が良くないと思う。小口径のダイアフラムは、高音に有利と言われるけど、たぶん、この辺の話なんだろうね。

じゃあ、粒がそろっているから良い音か？ 過渡特性が良いから良い音か？

自分はだいたい YES だと思ってる。

ただ、EHRLUND のマイクも、自分の AT5045 も、だいぶキャラが違うから、好き嫌いはわかる。

「好き」が多かったら、みんな使ってるだろうから、そうじゃないってことは、みんなが求めている音ではない、って感じなのかな。まあ、それも含めて、そのマイクを使う人のキャラなのかもね。

## 西湘のビデオ屋稼業 (今回は、プチトラブルよもやま話)

2022.5 月 高橋 昌一  
(含むことあり:個人的、感覚的話し)

●只今、数園あるR3年度の卒園式編集のど真ん中。

いつものようにヘッドフォンモニターで音声もチェックしながら編集していると、「あれっ、何だかうるさいな〜」。

カメラ(NX5R)へのタッチ音がやたら耳に障ってきます。 ???。

どうやら、いつものように音声メニューの「風音低減」を ON にして撮影していたつもりが、なにかの拍子に OFF にしてしまい、そのためタッチ音が目立ってしまったようです。ON と OFF の差はこんなにも大きいものなのか、あらためて感じた次第です。修正編集はしましたがそれなりに手間はありましたね。

●コロナ禍に翻弄される、ザワつき現場のカメラワーク。

コロナ禍も3年目に入ってくると、行事開催手順もそろそろ落ち着きを見せてくれるかと思いきや、どうやらそうでもなさそうです。

「楽器はOKだが、歌声はNG」「時間縮小で」「ソーシャルディスタンス確保」の制約の中、主催側は、何とか少しでも盛り上げたいという気持ちになってくるものなのでしょうか。

本番当日になっても、主催者を含め周囲共に、あれやこれやとバタつきが目立ちます。

フライング気味の司会者、スペースあるのに出演者同士のカブリに目が届かない、予定と違う動きになる、などで、カメラワークでは、いつもの確信的オペレートのままならないことも多くなってきていました。

パン棒を操りながら、つい、押しやられ気味そうになってしまう士気を何とか保とうとしながら、「無理して外すのはマズイ！」一方、「無難で行くのもツマラナイ！」となって、とどのつまり、渦中へ飛び込んでしまっている自分も時々いました。

●「PC(ウィンドウズ 10)不穏動作で心中狂騒」。でも、どうやら解消か。

※ “ゴチャ書きですが、もし参考にでもなれば、の経緯報告。

(各症状現出&解消は前後しているかもしれませんが。なにせ混乱気味の日でしたゆえ)

① つい最近のトラブルです。朝一、編集 PC を立ち上げ最中、モニターに「古いグラフィックボードドライブをアンインストールし、最新のドライブをインストールしてください」の表示が出きました。初めて見るメッセージです。

「どうしたものかな」と思いつつ、とりあえずウィンドウズのアップデートを行ってみたら、メッセージは出なくなりました。(アップデートは 7~8 個溜まっていたかと思います。)

これで OK だろうと思っていたら、今度はつい昨日まで鳴っていた EDIUS 編集動画の中で、

AVCHD 動画が、画像の再生は出来ているのですが、の音声(Dolby Digital(AC-3))が聞こえてこないという、オソロシイ症状に出くわしました。

編集画面でのインジケータの振れもありません。もちろんミュートにはしていません(ちなみに XAVCS 画像の LinearPCM 音は問題なく出ており、振れもありました)。

お決まり事の再起動を 2.3 回繰り返してみるも、症状の改善はありません。確認のために、他のプロジェクトファイルも開いてみましたが、まったく同じ症状です。

そこでチェック的に、その AVCHD 素材をウィンドウズ上(「映画&ビデオ」アプリ)や、オーサリングワークス 6 に取り込んで再生してみました。画像も音声も問題なく出てきています。

そうすると、音声ルートにおける、機器類間の接続&設定エラーではなく、EDIUS 本体そのものから、AC-3 音声が出ていないよう感じました。

素人考えに近いですが、Dolby Digital(AC-3)再生のコーデックが何らかの原因によって、EDIUS とのリンクが外れたのかも知れないと思い立ち、ネット検索するも、答えが見つかりません。

そうこうしているうちに自分でもできそうな手が二つ浮かんできました。一つは手間がかかってしましますが、動画変換ソフトの Video Mastering Works 7(ペガシス社)を使って、音声のみを他のコーデックに変換書き出しして、タイムラインに貼り付けて、とにかく無音回避をする。二つ目は現行の EDIUS Pro 9 のバージョンを x に上げて確認してみる、でした。

とり急ぎ、Video Mastering Works 7 立ち上げます。久しぶりの立ち上げなので、ここでもアップデートの案内が出て来たので更新完了後、とりあえず一つだけ音声を変換してみて、貼り付けるべく、EDIUS プロジェクトを開きました。すると何と、さっきまで聞こえていなかった AVCHD 画像の音声、何事もなかったかのように聞こえてきたのです。

結果的に問題解消です。ただし、なぜ発生し、なぜ解消したのかはよく分かりません。

この件でご存じの方はぜひ会報へ投稿を。

※蛇足になりますが、この画像変換ソフト Video Mastering Works 7 は、使用頻度は高くありませんが、最近機会の増えてきている顧客から預かったオリジナルデータ(例:お客さんサイドで制作したスライド映像等の動画素材)で、音は出るが動画が再生できない、またはその逆、というケースでは、このソフトによって、一発変換で解決できています。おそらく多種多用の変換・再生コーデックが搭載されているような印象のソフトです。

② 上記と全く同日でのタイミングで起きたもう一つの出来事。

PC 起動中に「Fixing(L)Stage…」 「修復中※※%」 のメッセージが出てきました。ネットで探してみるとこれは HDD 不具合のお知らせとありました。

今回のケースでは、いくつか搭載してある HDD のうち、L 番がその指名を受けたのです。

データ BU を行い別の HDD と交換したところ、メッセージは出なくなりました。

こちらはかなりありがたいメッセージだったかもしれません。

交換後はスッキリ！気分でした。